

【次世代】施策の柱39

①予算事業名	国保賦課事務事業	事業名	国保特別会計	基本構想上の位置づけ 上段：「島づくり目標」 下段：「施策の柱」		総合計画実現に向けて	
②担当部課名	福祉課	事業実施(予定)年度	H30~H32	基本計画の該当箇所		住民にわかりやすく効率的な 行財政運営 施策の柱39-1	
③事業内容	国民健康保険税の適正な賦課・徴収を実施し、納期内納税者との不公平感を適正処理し、徴収率向上に向けた取り組みを行う。また、運営協議会での会議の開催や意見交換などを行っている。						
④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
⑤事業費 【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	財源内訳	(a)国庫					
		(b)県費					
		(c)地方債等					
		(d)一般財源		2,589,000	2,589,000	2,589,000	2,589,000
	計(a~d)	0	2,589,000	2,589,000	2,589,000	2,589,000	
	特定財源名	(a) または (b) の 名称		(c) の名称			
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	平成30年4月から制度が変わり県も一保険者となる。また、財政主体が県になるため徴収率の向上や税率の変更など検討する。また、平成35年度までに税率や3方式(所得割・均等割・平等割)に統一するため協議を行う。					
	平成31年度	財政主体が県になるため徴収率の向上や税率の変更など検討する。また、平成35年度までに税率や3方式(所得割・均等割・平等割)に統一するため協議を行う。					
	平成32年度	財政主体が県になるため徴収率の向上や税率の変更など検討する。また、平成35年度までに税率や3方式(所得割・均等割・平等割)に統一するため協議を行う。					
⑦成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年度)
	徴収率	目標	( / )	( 92% )	( 93% )	( 93% )	( / )
		実績		91.4			
	賦課方式	目標	( / )	( 4方式 )	( 4方式 )	( 4方式 )	( 3方式 )
		実績		4方式			
果・事業 等・成果	税の適正な賦課・徴収を実施し、納期内納税者との不公平感を適正処理し、徴収率向上に向けた取り組みを強化。						
⑧写真及び図面							